

重機事故対策等に重点

夏までにモデル工事選定

18年度建設工事事故防止重点対策

国土交通省は、建設工事事故防止対策に向けた18年度の重点対策を、3月31日付けで各地方整備局に通達した。ヒューマンエラーによって起こる重機との接触事故や、近道・省略行動に起因する事故の防止対策をより重点化。夏以降にモデル工事を実施し、現場への適用条件や効果的な実施方法を検討する。また、主に現場内に設置していた「事故ゼロ宣言」などの看板を現場の外にも設置し、安全に対する意識を高めるよう請負者に働き掛けることとした。地方自治体や関係業団体にも参考送付した。

ヒューマンエラーによって起こる重機との接触事故については、重機の接近を知らせる警報装置「作業員接近感知・警報システム」をモデル現場に導入するほか、17年度モデル工事の対象重機だったバックホウ以外への導入も検討する。「安全通路を確保する」などの看板の設置(現場の内外)を推奨し、現場

などといった、近道・省略行動による事故を防止するため、代表的な事故事例を基に、ソフト(教育など)・ハード(バリアードの設置など)の両面での対策を実施する。いずれも夏までに具体策をまとめ、建設工事事故対策検討委員会(委員長、山村和也日本大学非常勤講師)で了承を得た後、モデル現場で実際に取り組む。

18年度は新たな広報活動も推進する。直轄工事の現場で、事故ゼロ宣言などの看板の設置(現場の内外)を推奨し、現場

24日から申請受付け

環境測定調査受注資格審査

環境省は、ダイオキシン類環境測定調査受注資格審査(18年度後期)の申請を24日から28日まで受け付ける。審査結果は

7月25日に発表する。ダイオキシン類の測定・分析は、複雑な操作と高度な技術を要し、精度管理が重要とされるため、資格の有効期間は20年度までの3年間。ただし18年度の受注資格を既に

同省が発注する測定・分析について受注資格審査を行っている。測定対象項目は、土壌、一般環境大気、公共用水域水質、地下水質などを幅広く規定している。

保持している期間が項目追加を申請した場合は、18年度の1年間が有効期限となる。手続きの詳細は、同省ホームページ(<http://www.env.go.jp/water/index.html>)に掲載。問い合わせは、環境管理総務課ダイオキシン対策室(03-35581-3351)まで。

同制度は、施工者等がごし木材取扱店であることが必要。問い合わせは、県土木部建築課住宅政策室住宅企画係(099-286-3738)まで。

県交通安全施設工事業者協会(重吉孝二会長)は5月9日午後4時から、鹿児島市のレクストン鹿児島で18年度総会を開く。

来月9日、総会



夏迫 裕作



この時期は、何かと飲み会が多い。それもやたらと気を遣う疲れの飲み会。私が飲み会とは気を遣う場所なのだと思え込まれたのは、学生の頃のアルバイト先である。当時、私のバイトは時給がやや良かった代りに仕事は厳しく、上下関係も厳しく、飲み会の席はさらに厳しいものであった。今回は私がバイトを始めてまだ日が浅い頃、一番下っ端の時代の話。

月末にバイト代を頂いた後、決まって飲み会が行われた。参加者はわれわれバイト数名から部長クラスの社員まで。この時期は、何かと飲み会が多い。それもやたらと気を遣う疲れの飲み会。私が飲み会とは気を遣う場所なのだと思え込まれたのは、学生の頃のアルバイト先である。当時、私のバイトは時給がやや良かった代りに仕事は厳しく、上下関係も厳しく、飲み会の席はさらに厳しいものであった。今回は私がバイトを始めてまだ日が浅い頃、一番下っ端の時代の話。

と共々グラスに口をつけた。先陣を切った。バイトからありがたい1発を頂く。全員と乾杯してから飲み会のスタート。もちろんグラスに

ル瓶は空き、焼酎に切り替える方もちらほら。それぞれ周りの方が気づかれて「バイト君飲み物が無いよ!」すると、また1発。社員の方には気が遣わせるなどのこと。皆さんの飲み物残量をチェックしながら挨拶回りをしなればならないのである。

自分が食べる暇などない。腹減った。やっとなの思いで挨拶を済ませる頃には自分の席は無くなり、食べ物も無くなっている。そして飲み会終了。お支払いは何のためかと思いつつ、疲れた自分の体にジュースを買ってあげる。するとまた1発。皆が買わないのに買うなどのこと(涙)。

それでも次の月のバイトには行くのであった。その当時は、きつくてたまらなかったものだが、お陰で社員の方にも覚えて頂き、仕事もたかきつ頂いた。今でもきついつい思い出はあつた。その後の社会生活には大いに役立っており、気を遣いながらも飲み会を楽しむようになった。先輩バイトに感謝感謝である。新人のみなさん、そこそこ頑張りましょう。

(県建築課建築機械設備係設備技師)

春を迎えて

木 陰

県・民間金融機関

金利等優遇制度を創設

民間金融機関と県はこのほど、「県がごし木材の家・金利等優遇制度」を創設、3日申し込み分からスタートした。同制度は、「認証がごし木材」を使用した家の新築・購入に対して住宅ローンの金利等を優遇するもの。参加金融機関は、鹿児島銀行、鹿児島興業

信用組合、鹿児島信用組合、奄美信用組合(今後予定)。適用地域は県内全域。参加金融機関への申し込みを経て、県が基準適合確認を委託する県木造住宅推進協議会に基準審査の申し込みを行う。なお

県交通安全施設工事業者協会(重吉孝二会長)は5月9日午後4時から、鹿児島市のレクストン鹿児島で18年度総会を開く。

来月9日、総会

鹿児島市事務所等配置換え

契約課関係はみなと大通り別館

鹿児島市は3月及び4月に事務所等の配置換えを行った(一部については予定)。

配置換えは次の通り。

▽人権啓発室 4月12日から東別館3階
▽道路維持課 4月10日から東別館6階
▽管財課 4月3日から本館3階

▽総務部長室 4月4日から本館2階
▽財政部長室 4月3日から本館3階
▽契約課関係 3月27日からみなと大通り別館2階
▽監査事務局関係 3月27日からみなと大通り別館2階

▽人権啓発室 4月12日から東別館3階
▽道路維持課 4月10日から東別館6階
▽管財課 4月3日から本館3階

九州7県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生!!

◆Web九州

福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス

◆Web福岡

福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット

無料体験キャンペーン実施中!!

kyusyu@web-kyusyu.com



株式会社ウェブ九州

〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目13-2
TEL 092(414)0160・FAX 092(414)0169
URL: <http://www.web-kyusyu.com>